

**EGFR遺伝子変異陽性 非小細胞肺癌（扁平上皮癌を除く）  
イレッサ+アリムタ併用療法 患者プロトコール**

催吐リスク
<b>軽度</b>
放射線併用なし

投与プロトコール <b>1コース 21日間 制限なし</b> 《開始時基準 PS:0~2 年齢:20歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食		day1	—	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL		day1	30分	
①	<b>アリムタ 500mg/m<sup>2</sup></b> 生食 100mL	mg	<b>day1</b>	10分	
内服	<b>イレッサ 250mg/day</b>	mg	<b>day1~21</b>	分1 食後	

◆初回投与7日以上前から、パンプタン1g/回/日を連日経口投与。  
 なお、パンプタンの投与を中止又は終了する場合は、アリムタ最終投与日から22日目まで可能な限り投与を行う。  
 ◆初回投与7日以上前に、フレスミンS(1mg/1A)筋肉内投与。(フレスミンSは、以後9週間毎投与)  
 ◆アリムタの催吐リスクは軽度に分類されるが、嘔気嘔吐がみられるため前投薬の5-HT3受容体拮抗薬は必要。

佐賀大学医学部附属病院